

第48回桐生市小学校水泳記録会 5・6年生から7名の選手が参加

7月29日(木)に桐生市民プールでおこなわれた桐生市小学校水泳記録会に7名の選手が参加しました。特練で外部指導者の佐藤雄大さんから丁寧な指導を受け、北小の代表として自信をもって記録会に臨んだ選手たちは、納得の泳ぎを見せてくれ、ほとんどが自己記録を更新しました。

5年男子50m自由形 T・H 41秒70 2位入賞

5年女子50m自由形 I・M 46秒34 5位入賞

5年男子50m平泳ぎ O・K 58秒87 6位入賞

S・S 1分14秒06 16位

6年男子50m自由形 I・A 38秒20 7位

M・K 42秒83 18位

K・A 47秒58 23位



* 始業式後に入賞者への表彰をおこないました。

2学期始業式 校長式辞 (抜粋)

今年の夏休みは、東京オリンピックが開催されて、たくさんのアスリートが活躍し、テレビでの応援も盛り上がったことと思います。校長先生は、陸上競技や水泳、スポーツクライミングやサーフィンなどの個人競技が好きで、出場している日本人選手を一生懸命応援しました。

その中で、とても注目した競技がありました。今回のオリンピックから新しく取り入れられた「スケートボード」という競技です。スケートボードには、ストリートとパークという2つの種目があります。この種目で日本人選手がたくさんメダリストになりました。女子のストリートで金メダルを獲得した西矢 栞(にしや もみじ)さんは中学2年生です。また、パークで銀メダルを獲った開心那(ひらき ここな)さんは中学1年生です。6年生にとっては、ひとつ、ふたつ年上の先輩になりますね。ふたりの中学生が、笑顔で楽しそうに伸び伸びと競技をする様子を見て、オリンピックがとても身近な大会に感じられました。陸上や水泳の選手が、百分の一秒を縮めるために人生の全てをかけて練習に取り組んでいるのとは違って、メダリストとなったふたりの中学生は、「楽しかった」「もっとスケートボードに乗りたい」「早く練習がしたい」と、オリンピックの大舞台で、競技そのものを存分に楽しんでいました。

皆さんには、思いっきり楽しみながら取り組んでいることはありますか。これなら人には負けないと、一生懸命打ち込んでいることはありますか。「好きこそ、もの上手なれ」ということわざがあります。好きで取り組み、好きで頑張れ、好きで続けられるって、それだけで力になり、目標を達成したり願いが叶ったりして、成功に繋がっていきけるのですね。成功体験を増やして、更なる意欲をもってものごとに取り組めるといいと思います。

この後、皆さんも夏休みにがんばったこと、続けて取り組んだこと、楽しかったことなどをクラスで話し合い、めあての達成がどのくらいできたか振り返ってみてください。そして、2学期の目標を考える時には、「何をどれだけ取り組む」のかをはっきりさせて考えると良いと思います。「一番強いのは、続ける才能」です。取り組むことを具体的にして、自分のがんばり度がよくわかるようにしてください。